

平和と手話通訳を考えるつどい

「ビルがお墓に見える～被爆体験と旧陸軍被服支廠」

2021年7月17日(土)
13:30～15:30
広島市中区地域福祉センター5階
大会議室1・2、ボランティア研修室
(広島市中区大手町4丁目1-1)

*手話通訳付き

講師：^{きりあけちえこ}切明千枝子さん



1999(昭和4)年11月生まれ

県立広島第二高等学校4年生(15歳)の時、学徒動員勤務先から通院途中に比治山橋東詰めで被爆。

ガラス破片と倒壊した建物による怪我を負うが、火傷は免れる。

終戦後、脱毛、紫斑、高熱などに悩まされるも

両親の看病のおかげで元気を取り戻す。

自分は下級生たちの悲惨な死を後世に語り継ぐべく生かされた。

証言が平和を守ることにつながり何よりの供養になるのではと、

92歳の今でも被爆体験証言者として活動をされている。

母親が支廠に勤務のため幼少期から出入りしていたので支廠への想いが強い。

主催 広島県手話通訳問題研究会西部ブロック
広島市ろうあ協会

申し込み方法：

・会場参加の方 名前と連絡先(メールアドレスか電話番号)

を事務所にメールまたはFAXしてください。

・オンライン参加の方 名前とメールアドレスを事務所にメールで送ってください。

連絡先：NPO 法人広島県手話通訳問題研究会 広島市東区光町1丁目11-5-508

TEL082(568)6770 FAX082(568)6771

Mail hirotsu-ken@nifty.com

★ 会場定員：60名 オンライン(zoom)定員 80名(参加費無料)

★ 事前にご連絡ください。

申込書

氏名	
連絡先	

